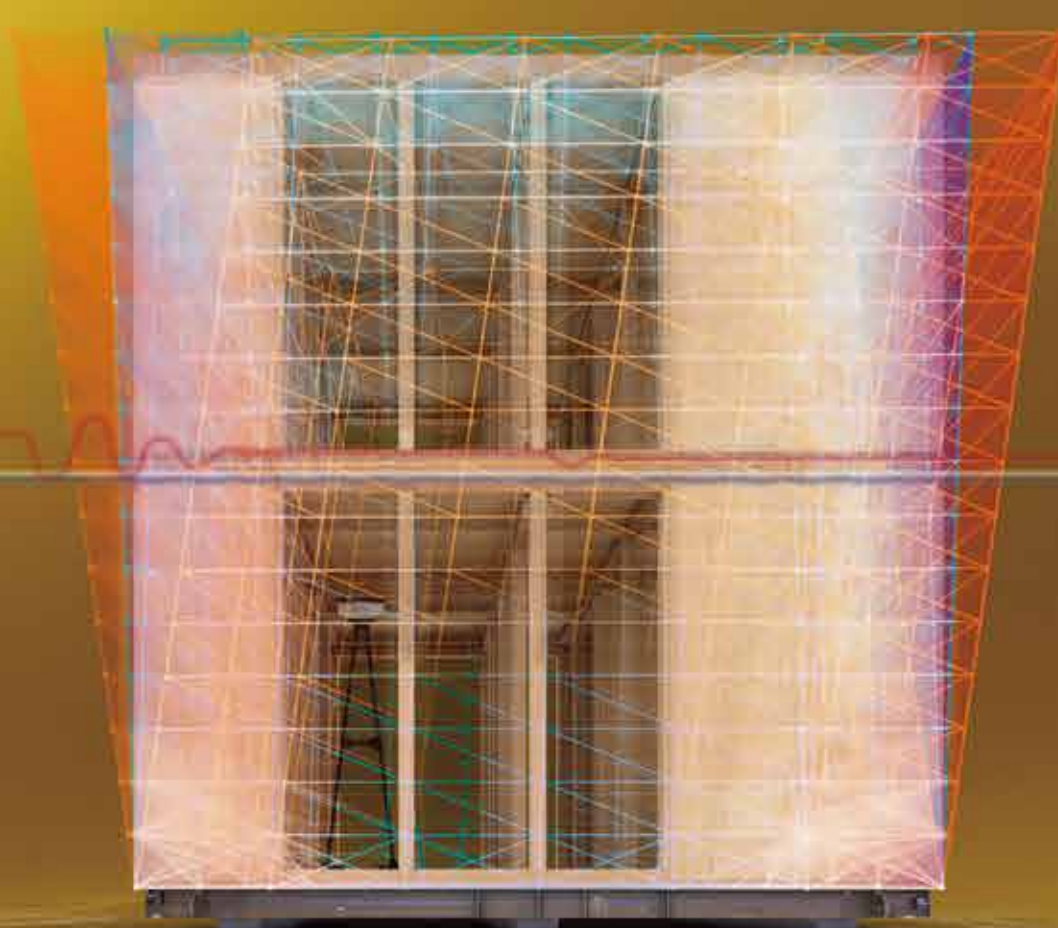


ゴムを究めれば、  
巨大地震をも制する力になる。



巨大地震を想定した振動台実験

住友ゴムのゴム技術は、近年タイヤ以外のフィールドでも注目を集めている。  
それが「制震」分野だ。大地震の対策として、最初の本震を考えるだけでは決して十分とは言えない。  
いかに建物へのダメージの蓄積を防ぎ、次々と起こる余震にも耐えうる準備をしておくかが安全の成否をわける。  
そこで住友ゴムが開発したのが、住宅用制震ユニット「MIRAIE (ミライエ)」だ。  
大規模な橋梁やビルでも使用されている独自の「高減衰ゴム」が運動エネルギーを熱に変えて吸収。  
震度7の地震でも揺れ幅を最大95%<sup>\*</sup>低減し、くりかえし来る余震にも強いことが実証された。  
世界有数の地震大国と言われるこの日本に、揺るぎない安心を。  
住友ゴムは、車に乗る時も家にいる間も、あなたを守り続ける。

※振動台実験の結果によるものであり、建物形状、配置プラン、地震波によって異なります。【実験概要】実験名：木造住宅2F建てモデルによる振動台実験 / 建物：木造軸組工法1F部分（制震ダンパー有り・無し） / 建物形状：5.46m×3.64m / 建物重量 70.56kN / 実施年月2017年1月 / 入力波：2016年熊本地震本震相当 震度7



ゴムで揺れを吸収する「制震ユニット」ミライエ

MIR<sup>“A”</sup>IE

# 住友ゴム発、世界技術。



住友ゴム工業株式会社  
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.